

浜松市博物館常設展の一部更新について

8月から博物館常設展の弥生時代と古墳時代の一部が変わります。

弥生時代では伊場遺跡群出土品（重要文化財）や猪久保銅鐸（静岡県指定有形文化財）、古墳時代では光明山古墳や郷ヶ平6号墳から出土した埴輪などが新たに加わります。

なお、変更した箇所を中心にギャラリートークを行うほか、関連するパンフレットを配布します。

記

1 更新内容

浜松市博物館常設展示（弥生時代・古墳時代の一部）

2 ギャラリートーク

常設展の見どころについて、変更した部分を中心に解説を行う。

日時：8月1日（土）10：30～11：00、 8月8日（土）11：00～11：30

予約：不要

3 展示資料に関するパンフレットの配布

題名：「静岡県伊場遺跡群出土品」

内容：弥生時代における伊場遺跡群の出土品（令和7年に重要文化財に指定）を紹介するもの

日時：8月1日（土）・8月8日（土）ギャラリートークに合わせて配布



伊場遺跡群出土品
出土地：中央区東伊場ほか
※一部を選んで展示します。



猪久保銅鐸
出土地：浜名区三ヶ日町日比沢



郷ヶ平6号墳から出土した埴輪
出土地：浜名区都田町